



藤枝明誠高校の大学入試入学説明会に参加

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己一等空佐）は、6月24日（月）、藤枝明誠高等学校（藤枝市）で開催された「校内大学入試入学説明会」に自衛隊の説明ブースを開設した。

説明ブースには、3年生18人と2年生4人が訪れた。担当した広報官は、生徒一人一人の希望する受験コースを確認し、パンフレットなどを配布。主に防衛医科大学、防衛医科大学校（医学科・看護学科）の趣旨説明を行い、各大学の目的や特色、カリキュラム、学内生活、訓練の様子、休日の過ごし方などを生徒にPRし、最後に受験に向けた助言を行った。

生徒たちからは「自衛隊のパイロットを目指しています」「看護学科の受験を考えています」など、将来の職業と受験の方向性をしっかりと考えていることがうかがえ、「防衛大学校には大学院がありますか」「受験のレベルはどのくらいですか」といった真剣な質問に、「防衛大学校には大学院に相当する研究科がある」との回答をはじめ、広報官が一つ一つ丁寧に答えた。

静岡地本は、今後も積極的に学校が開催するガイダンスに参加し、多くの学生に対し自衛隊の魅力をPRしていく。



新隊員、基礎教育を終え新たなステージへ

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己一等空佐）は、6月29日（土）、陸上自衛隊武山駐屯地（神奈川県横須賀市）で行われた第117教育大隊の「第13期一般陸曹候補生課程卒業式」に参列した。

式典会場には、卒業する隊員たちの入隊を担当した地本長や近郊の部隊長、自衛隊協力団体の代表が壇上に列席したほか、3カ月間の教育を終えた我が子の成長を見ようと多くの隊員家族も列席し、979人の新たな門出を祝福した。

教育を司った東部方面混成団長は訓示で、「一丸となって厳しい訓練を乗り切った同期の絆を大切にするとともに、国民を助けることができるプロの自衛官となって活躍することを期待する」と述べ、激励した。式終了後、列席した家族は「入隊してから3カ月で、こんなに精悍で凛々しい姿になるとは」「一人前の陸上自衛官となって、任務や訓練を頑張ってもらいたい」と嬉しそうに感想を話していた。

本卒業生は7月1日以降、北海道をはじめ静岡県内や関東甲信越地域の陸上自衛隊の部隊において各種技能等の教育訓練を受けるため、各々が希望を胸に新たな部隊へ配置された。

静岡地本は、今後も隊員の成長を見守るとともに、隊員とその家族との架け橋として支援を行っていく。

